

令和7年度 社会福祉法人嘉誠会 障害者支援施設ヴァンサンクの郷
地域連携推進会議 議事録

日時:令和7年11月15日(土) 9:30~11:30

場所:ヴァンサンクの郷 PAS A PAS

出席委員:矢田西民生委員1名・保護者代表1名・利用者2名・施設長

司会・記録:施設長

1. 施設長より挨拶

2. 参加者自己紹介 参加者全員の紹介

3. 令和6年度事業報告及び施設運営に関する説明及び現況報告

スライドと資料を用いて、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定による地域連携推進会議の目的を説明。施設概要及び理念・方針、今年度のテーマ等に関して、写真やスライドを用いて四季折々の利用者様の生活状況やスヌーズレン等についての説明、報告。

5. 施設見学

6. 地域との連携

地域清掃への参加や、防災訓練、コミュニティセンター等との連携についてのこれまでの取り組み・今後の課題について

まとめ

今回は、第1回目として、秋祭りの日に会議を設定。写真を多く用いたスライドで状況報告も行った。委員の方より、「施設は本当に大変だなというのが印象。365日24時間の仕事は、シフト業務とはいえ、本当に大変な仕事だと思います。」とのご意見をいただいた。

「初めて見る・聞くことばかりでしたが、重度の利用者さんも外に散歩できているのか」という質問があり、散歩・ドライブ・買い物外出など出かける機会を沢山設け、天気の良い日は積極的に散策にでかけていること等の意見を交わした。

ご家族代表からは、「コロナ前までは地域の方の祭りへの参加等、地域の方との交流もあったと思うが、また、これから広がったらいいですね。何より、子供(利用者)を中心に色々考えてもらって取り組んでもらえていることに感謝。家の環境だったら、スヌーズレンなんて思いつかない。限られた施設の中での生活は、散歩が簡単な作業をするのが精いっぱいだと思っていたが、畑作業も何ができるできたではなしに、ささやかでも利用者と一緒に作ったという喜びが大事だと思う。買ったならなんでも手に入る時代に皆で作った「喜び」。みんな喜んで食べただろうなあと目に浮かぶ。いろいろな取り組みに感謝します。また、施設の目の前が、ずっと田んぼのままがありがたい。大きな建物が建ったら、日当たりも悪くなるし圧迫感があるが、田んぼであることで景観が保たれているので、ありがたい。」等の意見を頂戴している。

ご利用者には「大阪市施設入所者地域生活移行促進事業」を利用された方に参加いただき、この事業に関する説明を行い、やってみてよかったとの意見と、今後もたくさん外出をしたいが、まだ施設をでて外で暮らすことはもう少し先で考えたいとのお気持ちを改めて話されていた。

大変ご多忙の中、ご参画いただいた委員の皆様へ謝辞を申し上げ、ご利用者及びご家族は、会議後に秋祭りのイベント終了までご参加いただいた。

以上